



つなぐの森ハリプー

一宮市九品町4丁目22econos内

構造／躯体:鉄骨造 内部:木造
延床面積／73.47㎡
竣工／2022年8月
木材使用量／10.24㎡
施主／株式会社エコ建築考房
設計／やまのおうち
施工／株式会社エコ建築考房
受賞歴／2023年度（第17回）キッズデザイン賞



木からはじまるつながりの場

岐阜県東白川村産のヒノキ・スギを主に使用している。子どもたちが直接木に触れる造りとしており、木の触り心地やにおいをおとして、木に親しみをもってもらえる遊び場となっている。また、遊び場中央の「モリハリプー」にはFSC認証材を使用している。





森 齒 科

瀬戸市平町1-57

構造／鉄筋コンクリート造一部木造2階建

延床面積／784㎡

竣工／2024年7月

木材使用量／65.6㎡

使用樹種／スギ

施主／医療法人令和会 森齒科

設計／(株) studio KOIVU一級建築士事務所

施工／石黒建設株式会社



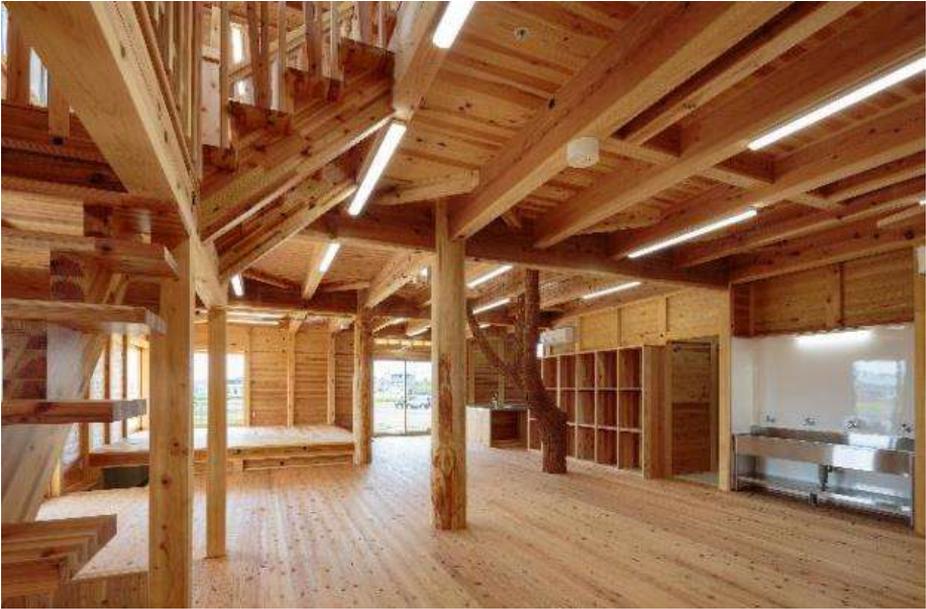
スギ材CLTによる大空間医療施設

1992年に瀬戸市で開院した森齒科が、CLT（直交集成板）を活用した先進的な木造施設としてリニューアル。

最大スパン13.5mの屋根構造により、梁のない開放的な診療空間を実現した。スギ材のCLTは屋根だけでなく階段や家具、案内サインにも使用され、木の香りと温もりが患者の緊張を和らげる。

断熱・遮音・耐久性にも優れ、CLT部材は必要に応じて取り替えられる設計となっており、長く安心して使い続けられる医療施設として地域に根ざしている。





木の香る都市づくり事業

民間学童保育

グット・ビレッジあのね

春日井市南下原町5丁目17-12

構造／木造2階建て

延床面積／477.46㎡ 竣工／2023年5月

木材使用量／170.65㎡

(うち あいち認証材163.40㎡)

施主／株式会社こどもみらい創造研究所

施工／株式会社安井工務店

2022年度木の香る都市づくり事業活用施設



木の香り・風の流れ・自然の温もりを感じる民間学童保育

田んぼに囲まれた自然豊かな環境の、開放感いっぱいの土地で子どもたちに自然の安らぎを感じ、たくさんふれてもらえるよう、園庭には四季折々の木を植樹し、室内には山の木の形そのままの変木、ロープなどを張ったアスレチックもある。

2階建てでほぼすべてに、あいち認証材を使用した板倉工法での建物。外壁、室内の壁、床、階段で杉板材を使用。特にスギ丸太柱、丸太梁の存在感は、子どもたちに木の柔らかさや温もり、豊かな自然を感じさせる空間づくりに貢献している。



あいち木づかい表彰受賞施設

株式会社 アーティストリー応接室

春日井市西本町三丁目260

構造／鉄骨造2階建て 竣工／2022年10月
内装木質化面積／13.18㎡
木材使用量／0.05㎡（すべてあいち認証材）
施主・設計・施工／株式会社アーティストリー
受賞歴／第6回あいち木づかい表彰特別賞



3D木工による木に包まれた空間

まるで木に侵食されているような複雑な造形だが、本棚や飾り棚としての機能を持たせることにより、部屋として使いやすいようにデザインされている。

木目方向は流れに沿うように配慮され、デザインに一体感を持たせている。

非常に複雑な造形だが、3DCADを駆使したデザインと部材管理、5軸CNCによる高精度の加工、高い技術力を有した職人による施工によって実現している。





▲ 西棟内観

桑原木材株式会社 新倉庫(西棟・東棟)

犬山市大字羽黒新田字中屋敷49番2

構造／木造平屋建て
 延床面積／西棟:278.24㎡・東棟:289.84㎡
 竣工／2023年8月
 木材使用量／西棟・東棟あわせて100.4㎡
 (うち、あいち認証材39.6㎡)
 施主・設計／桑原木材株式会社

国産ヒノキの無垢材を使用し大空間を実現 ハイブリッドトラス構法の木造倉庫

自社で加工する国産ヒノキの無垢材を活用することにこだわった木造倉庫。

西棟は150角、東棟は120角の柱を基本とし、最大で150×240の平角を使用。すべてヒノキ材の無垢とした。

大スパンを実現するために、木材と鋼材を組み合わせたハイブリッドトラス構法を採用した。西棟は切妻屋根でトラス梁のスパンは14.56m。片流れ屋根の東棟は9.1m。また、木造にすることで、S造よりも大幅なコストダウンを実現した。



▲ 建設中の西棟内観



▲ 西棟外観



▲ 東棟内観



木の香る都市づくり事業

モ ク キ チ

MOKU KICHI

江南市布袋町西布218

構造／木造平屋建て 延床面積／1,132㎡

開業／2024年10月23日

木材使用量／251.34㎡

(うち あいち認証材219.12㎡)

施主／名古屋鉄道株式会社

設計／飛騨五木株式会社

施工／株式会社井上工務店

2023年度木の香る都市づくり事業活用施設

布袋駅の高架下に新たに誕生した木の温かみのある木造の商業施設

旧布袋駅は100年近く愛された名古屋鉄道最古の木造駅舎であり、その魅力を継承することで、長く愛される新しい布袋駅のシンボルとなることを目指した施設。

愛知県産木材を使用した構造材を内外共に現しにすることで、駅舎からのも木造の構造体が視認でき、無機質なコンクリートの印象を和らげている。

共用部に設けるベンチなどにも愛知県産木材を使用し、鉄道加工によって守られた外部空間に、人だまりの空間を創出している。



写真提供（3点）：名古屋鉄道株式会社



小牧市立 小牧南小学校

小牧市若草町82

構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建て
延床面積／11,336.10㎡
竣工／2023年4月
木材使用量／118.8㎡
(うち あいち認証材22.73㎡)

施主／小牧市
設計／株式会社久米設計
施工／東急・滝JV、野里・白川JV、太平・水野JV
受賞歴／愛知まちなみ建築賞2023、中部建築賞2024入賞、日本建築学会作品選集2025、キッズデザイン賞2023受賞、ウッドデザイン賞2024受賞



図書と木が育む、子どもたちの つながり合いを大切にした学びの場

児童・先生・地域の交流によって様々な「つながり合い」を大切にする学び舎を目指した新校舎は、図書と子どもたちが非常に近いという関係性を読み解き、学校の中心にオープンな図書室を設けることを計画した。

設計時に子どもたちと図書をテーマにワークショップを開催し、「木に囲まれた空間で本を読みたい。」という多くの意見を汲み取り、床や天井のほか、書棚やカウンターなどで、随所に木材を使い、木の温もりにあふれた図書の空間づくりを行った。

愛知県産木材の他にも旧校舎にあった樹木をスツールや掲示板など形を変えて残すことで、学校の長い記憶の継承を図った。



写真撮影：ロココプロデュース

はくほう学童保育クラブ

尾張旭市桜ヶ丘町二丁目212-1他

構造／木造 2階建て地下RC 延床面積／171.45㎡

竣工／2022年3月

内装木質化面積／108.97㎡

(うちあいち認証材108.97㎡)

木材使用量／68.31m³

(うちあいち認証材66.04㎡)

施主／一般社団法人Life in the Woods

設計／東海林建築設計事務所

施工／株式会社安井工務店

2021年度木の香る都市づくり事業活用施設

板倉構法を採用した 放課後児童健全育成施設

板倉構法は、柱等の軸組に溝を掘り、厚さ30mmの杉板を落とし込むことで壁を施工するもので、一般の木造建物に比べ、2～3倍の木材量を必要とする。

あいち認証材を地元の建物に多く使用することにより、地元への経済効果を生む取り組みでもある。





特別養護老人ホーム かもだの里

北名古屋市九之坪笹塚109

構造／鉄筋コンクリート造3階建て
延床面積／6,119.78㎡ 竣工／2022年3月
内装木質化面積／2,027.16㎡
(うち あいち認証材2,027.16㎡)
木材使用量／28.19㎡
(うち あいち認証材28.19㎡)

施主／社会福祉法人西春日井福祉会
設計／株式会社伯楽舎伯楽工房
施工／TSUCHIYA株式会社
受賞歴／第6回あいち木づかい表彰優秀賞
2021年度木の香る都市づくり事業活用施設

室内に広がりを与えるデザイン

ふれあい広場や喫茶コーナー、各階廊下など多くの人が集まる場所にあいち認証材を使用し、内装木質化を図っている。

特徴的な構造として、ふれあい広場の天井にあいち認証材を使った斜めルーバーを取り入れており、室内に広がりを与え、おしゃれな雰囲気演出している。

木の香る都市づくり事業

あいち木づかい表彰受賞施設





上郷複合施設 東棟 (上郷児童館・こどもの発達相談室 ・児童発達支援センター)

長久手市前熊前山173-3

構造／木造2階建て
延床面積／1,596㎡
竣工／2021年3月
木材使用量／214.45 ㎡
(うち あいち認証材 138.07㎡)

施主／長久手市
設計／樽建築設計室有限会社
施工／株式会社前田工務店

木と触れ合う木造2階建ての複合施設

柱及び梁の一部に県産木材を使用。柱・梁を見せる特徴的な意匠となっている。廊下まわりの腰壁や靴箱、ロッカー等、子ども達の手の触れる場所には、極力木を採用し、木材を身近に感じることができる。

1階は子どもの発達に関する相談を行う「こどもの発達相談室」と障がいのある児童等が身近な地域で安心して療育を受けることができる「児童発達支援センター」。2階は児童館で児童クラブも運営している。





あいち木づかい表彰受賞施設

リニモテラス公益施設

長久手市勝入塚121番地

構造／木造平屋建て 延床面積／383.30㎡
 竣工／2021年3月
 木材使用量／90㎡（うちスギ27㎡、ヒノキ63㎡）
 施主／長久手市
 設計／株式会社東畑建築事務所名古屋事務所
 竣工／株式会社服部工務店
 受賞歴／第29回愛知まちなみ建築賞
 令和3年度木材利用優良施設コンクール（優秀賞）
 ウッドデザイン賞2021（ソーシャルデザイン部門）
 第13回建築コンクール「さまよう建築」（優秀賞）
 第25回木材活用コンクール（木材活用賞）
 2022年度グッドデザイン賞
 第54回中部建築賞（入選）



木造平屋 1階建ての交流拠点施設

“新たなつながりをデザインする場”
 長久手古戦場駅前に位置する、木造平屋 1階建ての交流拠点施設。世代間を超えた新たなつながりを生み出す場。

施設内の内観は、印象的なラティス構造を採用して木のぬくもりとデザイン性の高い構造となっている。





あいち木づかい表彰受賞施設

東海木材相互市場 本社棟・問屋棟

丹羽郡大口町河北2-2

構造／木造2階建て2棟（本社棟・問屋棟）
延床面積／1,657.92㎡ 竣工／2019年6月
木材使用量／約400 m³

（うちあいち認証材67m³）

（JAS構造材製材144m³・CLT71m³）

施主／株式会社東海木材相互市場

設計／株式会社加藤設計

施工／株式会社アイチケン

株式会社東海プレカット

受賞歴／第3回あいち木づかい表彰優秀賞
ウッドデザイン賞2019

新しい工法と、最高級木材と丁寧な 大工仕事が見ごたえの 東海最大級木材市場の本社

市場取扱商品の無垢材をふんだんに使い、東海プレカットの多様な加工技術を利用した木造建築をPRする。

柱・梁・桁の構造部分にボルトと樹脂により木材を堅固に接合する拡張樹脂アンカー工法とシンプルな継手で木材同士を縫い付ける接合技術であるウッドファスナー工法を採用。

柱・梁共に国産無垢材の使用にこだわり、集成材を一切使用することなく、大きな無柱空間を実現。土台・柱・桁は機械等級JAS材、2階床及び天井にはAパネル（36mmCLT・スギ）を現しで、梁にはトラスと丸太を使用。外壁には焼杉、内装材にはクス・ナラ・サクラ・ケヤキなどの広葉樹を使用。





株式会社山西 木造4階建てビル

弥富市楠1-106

構造／木造4階建て枠組壁工法（S.S.W 14）

延床面積／286.36㎡ 竣工／2018年4月

木材利用／

縦枠材：SPF(206,204)、集成材(406)

上下枠材：SPF(206,204)、ベイマツ(206)

床材：ベイマツ(406,404)

床材：SPF(210)

施主／株式会社山西

設計／株式会社山西建築士事務所

構造計算／株式会社MoNOplan

施工／株式会社豊誠建設

非住宅木造建築の需要増加を見込み、 社内のスキルアップを図った木造ビル

1階には2×6壁に24mm厚合板を面材として使用した14倍耐力壁を採用。

各階は木造中高層建物用のホールダウンシステムATS（アンカータイダウンシステム／タナカ製）で緊結することで高耐力化を図っている。

外壁は21mm厚の強化石膏ボード2枚重ね＋防火サイディングで施工し、1時間耐火仕様とした。

同ビルをショールーム的に活用し「S.S.W 14工法」をはじめ各種工法の普及、物件対応を含めて需要深耕を進めていく方針。



はるっこハウス

大治町花常福島5-1

構造／木造平屋建て
 延床面積／173.08㎡ 竣工／2022年9月
 木材使用量／58.24㎡
 （うち あいち認証材14.93㎡）

施主／大治町
 設計／松岡設計事務所
 施工／株式会社大村技建
 2022年森林環境譲与税活用施設



子ども子育て支援拠点施設

「はるっこハウス」は、大治町内在住の就学前児童とその保護者、及び小学生が利用できる屋内施設で、「乳幼児と保護者の交流の場」「小学生の授業後の居場所」として活用されている。

構造材の一部及び玄関ホールの内装等に愛知県産木材を使用し、木の温もりあふれる子育て支援施設となっている。

あいち木づかい表彰受賞施設

蟹江町 せんとう 多世代交流施設 泉人

海部郡蟹江町大字西之森字海山326-3

構造／鉄筋コンクリート造 3階建て

延床面積／2,396㎡

竣工／2018年8月 木材使用量／10.67㎡

(すべてあいち認証材(設楽町産))

施主／蟹江町 設計／株式会社黒川建築事務所

施工／TSUCHIYA・朝本組特定建設工事共同企業体
受賞歴／第4回あいち木づかい表彰選考委員特別賞



水郷のまちとしての原風景を彷彿 とさせる、佐屋川に面した開かれた施設

蟹江町と友好関係にある設楽町産あいち認証材のスギ・ヒノキを使用しており、天井にもルーバー状に木材を利用して、視覚的に木材の温かみが伝わるよう配慮している。

また、エントランスに面するピロティ壁面に蟹江町の特徴的な風景を、ガラスモザイクタイルを主とした壁画で表現した。





▲外観（左：南館、右：北館）

東海市創造の杜 交流館

東海市横須賀町狐塚1番地

構造／鉄骨造一部鉄筋コンクリート造2階建

延床面積／2653.05㎡

竣工／2025年3月

木材使用量／16.69㎡

樹種／国産スギ、ホワイトオーク

施主／東海市

設計監理／隈研吾建築都市設計事務所

施工／清水建設株式会社名古屋支店

特徴的な木製ルーバーに包まれた 地域の伝統と映像の未来をつなぐ建築

建築家・隈研吾氏が設計を手がけた複合施設で、交流・イベント広場として利用可能なストリートを、北館と南館の2棟で挟む構成としている。

館内には、映画上映ができる映像ホールをはじめ、美術・映像作品の展示やイベントに対応した多目的ギャラリー、会議室などを整備。撮影スタジオ、映像編集室、音響調整室も備えた「撮影から上映までを一貫して行える施設」となっている。

特徴的な屋根や内装、外壁の木製ルーバーは、地域の祭礼である尾張横須賀まつりの山車や、横須賀御殿をはじめとする歴史的な街並みに着想を得て設計されており、温かみと親しみやすさを感じさせる空間を創出している。



▲交流・イベント広場



▲映像ホール

写真撮影：中村駿介



ちほく 知北斎場

大府市桜木町五丁目113番地

構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
2階建て

延床面積／3,171.99㎡

竣工／2025年4月

木材使用量／25.40㎡

(うちあいち認証材10.16㎡)

施主／知北平和公園組合

設計／株式会社石本建築事務所

施工／熊谷・シンセイ・中村特定建設工
事共同事業体、富士建設工業株式会社



最後のお別れの場としてふさわしい、 荘厳さと共にやすらぎと明るさを 感じられる火葬場

周囲の緑地と調和するよう建物の高さを抑え、多くの人が親しみを感じるモダン和風の意匠としている。

車寄せは、軒裏に愛知県産ヒノキの羽目板を貼った深い軒下空間とし、会葬者があたたかみを感じられ、包み込まれるような質感・形状としている。

待合ラウンジ室内にも軒裏から連続するよう羽目板を貼り、軒裏に反射したあたたかみのある光が室内を照らしている。



写真撮影：株式会社リフレクト 澤野将之

とこはぐ大府

大府市半月町3丁目239-1



構造/木造平屋 延床面積/432.71㎡

竣工/2023年3月

木質化面積/432.71㎡

(うちあいち認証材196.58㎡)

木材使用量/ 97.97㎡

(うちあいち認証材28.79㎡)

施主/株式会社ジェネラス

設計/株式会社三橋設計

施工/株式会社山本工務店

受賞歴/令和6年度木材利用推進コンクール
優秀賞

2022年度木の香る都市づくり事業活用施設



農福連携を主眼とした就労支援施設 新たな芽を‘はぐ’くみ、良き‘床’土に

大きな部屋の柱や登り梁・天井に木を現し、木の優しい表情が就労支援施設という用途に相応しい。建物の利用者は木の温もりと大きなサッシ越しに見える畑に包まれ、ゆったりとした時間を過ごすことができる。

屋外の軒下に現れる連続した梁は木の架構を美しく表現しており、木の外壁を採用することで、木の優しさを利用者だけでなく地域周辺の方々にも感じてもらえる施設となっている。



知多半島道路 大府PA（下り） 利便施設棟

大府市長草町西忍場46番1

構造／S造平屋建て
 延床面積／662.72㎡ 竣工／2022年5月
 木材使用量／軒天：463㎡、外壁：129㎡
 施主／大和リース株式会社
 デザイン監修／隈研吾建築都市設計事務所
 設計／株式会社青島設計
 竣工／大和リース株式会社



木の庇が人々を出迎える パーキングエリア

大府PA（下り）は知多半島道路として、3つ目のPA（パーキングエリア）になる。他のPAと同様に「木の庇」のコンセプトを引き継ぎつつ、白鯨池に面する「木のトンネル」としての役割も持たせ、人々が交流する場を作った。

木のあたたかさを感じるトンネルは地元の人々とPAを訪問する人々をつなぐ憩いの場となっている。



大府PA（上り）



阿久比PA（下り）



知多半島道路 大府・阿久比PA

大府市長草町石原57他、
知多郡阿久比町卯坂字上親田76他

構造／鉄骨造及び鉄筋コンクリート造
平屋建て

延床面積／大府PA 877㎡
阿久比PA 773㎡

施設オープン／2018年7月

施主／愛知県道路公社

運営／愛知県有料道路運営等事業：

愛知道路コンセッション株式会社、

大和リース株式会社、

株式会社アクアイグニス

設計・デザイン監修／隈研吾

デザインコンセプトは 「おおらかな木のひさし」

隈研吾氏が最も得意とするモダンな木材建築で、限られた敷地にありながら、開放的に感じることでできる外観をデザイン。ぬくもりを感じるやわらかな木の質感が、四季を通して来場者をあたたかく迎える。

庇部分は九州の木材を使用した不燃の構造用合板（5層）。表層、中層にはスギ、間にはマツを使用し、木の風合いを見せるつくりになっている。また、内装は宮城県石巻の災害復興品のマツ合板を使用している。

えま

江真コンサルティング 新社屋

知多市岡田美里町15-2



構造/木造2階建 延床面積/140.41㎡
竣工/2022年2月 木材使用量/41.6㎡
施主/株式会社江真コンサルティング
設計/株式会社ofa (総括意匠)、株式会社構造計画
プラス・ワン (構造)、株式会社アイ設計 (設備)
施工/吉富工務店株式会社
受賞歴/ウッドデザイン賞2022

森から建築まで一貫でつなく コンパクトな木のオフィス

木釘等輸入や森林コンサルティング業務を行う会社の事務所+倉庫。事務所部分をCLTパネル工法、倉庫部分を在来軸組+CLTとした適材適所の構成。

内部は壁、天井に木を現しとして木目の強さと美しさを活かし、吹抜や勾配天井など、大きな木の穏やかさと力強さを感じられる快適なオフィス空間を創出している。FSCプロジェクト部分認証取得により、建築の源流である森のあり方まで意識を届かせる、木の建築プロジェクトとなっている。

FSCプロジェクト部分認証の概要 (ライセンス番号: FSC®N002960)
プロジェクト認証書発行/2021年
種別/一度限りの部分認証
特定部位に対する表示/CLTから成る主要構造部である壁・屋根・階段



名古屋
・
尾張
・
海部
・
知多
・
西三河
・
豊田加茂
・
新城設楽
・
東三河



駅西小町 (エキニシコマチ)

岡崎市柱1丁目13-1他

構造／木造1階建て 延床面積／498.5㎡

竣工／2024年1月

木材使用量／65.09㎡

(うちあいち認証材65.09㎡)

施主／矢作地所株式会社

設計／都市企画株式会社

施工／株式会社宮繕ロジェ

2023年度木の香る都市づくり事業活用施設

木の香る都市づくり事業

岡崎駅西口周辺のにぎわい創出と駅利用者や地域の憩い・交流を目的に誕生した複合施設

駅西小町は平屋の建物が連なり、食べる・飲む・暮らし・学びをテーマとした施設。

飲食店、空き家相談センター、学童クラブが開業している。連続した登り梁や筋交いのあらかしを特徴とし、建物を支える構造の力強さを実感することができる施設となっている。



写真撮影：関拓弥



写真撮影：関拓弥



木の香る都市づくり事業

あいち木づかい表彰受賞施設

もり

風の杜ふくろう

岡崎市野畑町字藪下23番地2

構造／木造2階建て

延床面積／528.12㎡ 竣工／2022年11月

木質化面積／1,079.45㎡

(うちあいち認証材1,079.45㎡)

木材使用量／159.26㎡

(うち あいち認証材 159.26㎡)

施主／有限会社のみ

設計／小原木材株式会社

施工／小原木材株式会社

受賞歴／第7回あいち木づかい表彰優秀賞

2022年度木の香る都市づくり事業活用施設



板倉造りの高齢者グループホーム

板倉造りのため、内装は基本的にスギの羽目板の現しになっている。

入居者の精神的 視覚的な癒し効果だけでなく、イベントを通じ来訪される地域の方にも木材の空間を体感してもらえる施設となっている。

木の香る都市づくり事業

イオンモール岡崎内 岡崎市サービスカウンター兼 岡崎ビジネスサポートセンター

岡崎市戸崎町字外山38-5

構造／鉄骨造4階建て 延床面積／162,000㎡
竣工／2021年2月 内装木質化面積／41.72㎡
木材使用量／1,0038㎡
(内装0.7422㎡ 木製備品0.2616㎡)

樹種／ヒノキ

施主／イオンモール株式会社、岡崎市

設計・施工／株式会社サンテクノ

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設



イオンモール岡崎内の行政テナントを兼ねたサービススペース

次代へ向けたグローバルショッピングセンターとして進化するため、店舗リニューアルのひとつとして改装を実施。多くの来店者に対して木の魅力およびあいち認証材をPRすることができる。



あいち木づかい表彰受賞施設

ワシミ整形外科 羽根分院 (旧：くらしの杜クリニック)

岡崎市羽根町字若宮30-1

構造／木造平屋建て 延床面積／210.83㎡ 竣工／2019年3月
木材使用量／55.5㎡ (あいち認証材)
施主／服部工業株式会社 設計／小原木材一級建築士事務所
施工／小原木材株式会社
受賞歴／第5回あいち木づかい表彰最優秀賞※

※「くらしの杜クリニック」として受賞



愛知県産木材による木のあたたかさ と共に、健康に配慮した診療所

屋根の形なりに高い吹抜け形状の構造木材を現しとすることで、木材の持つ多孔質な材面と共に音を吸収しクリニックとして静かで落ち着いた空間となっている。

内装木材に愛知県産のスギ・ヒノキを使用し、無塗装とすることで素材の持つ抗ウイルス性・抗菌性の効能と、木材の見た目、香り、触りごこちによるリラックス効果により健康に配慮した空間となっている。



岡崎信用金庫 城下町支店

岡崎市上六名2-8-8

構造／外壁ガラス支持が鉄骨と木支柱の
混構造2階建て
延床面積／864.56㎡ 竣工／2016年11月
木材使用量／31.87㎡
(全てあいち認証材(80%岡崎市産材))
施主／岡崎信用金庫
設計／株式会社日建設計、
株式会社コンフォートメディア
施工／小原建設株式会社
受賞歴／第1回あいち木づかい表彰優秀賞
第28回愛知まちなみ建築賞



信用金庫としての機能とデザインを 超えてまちに開かれた施設

「四方八方への情報の発信地と集積地」「街をやさしく灯す行灯」をコンセプトにしてデザインされた。

特徴的な正八角形の平面形状となっており、全方位がガラス張りとなっている。愛知県産の製材を随所に活用し、ガラス越しに木が見えるようになっている。また内部には、利用者が見える場所に木材を使い、愛知の木を身近に感じることができるようにしている。





あいち木づかい表彰受賞施設

トヨタ車体 技術1号館パティオ

刈谷市一里山町金山100番地

社員の主体的な取組みにより 社屋を内装木質化

働きやすい職場環境づくりにも力を入れているトヨタ車体株式会社は、カーボンニュートラルの取組みとして、積極的な間伐材の利用による調和のとれた持続可能な社会の実現に貢献している。

同社富士松本社技術1号館パティオのリニューアルは、社員が自らテーブルやベンチ、格子などを、あいち認証材（豊田市産ヒノキ）を使用し製作。5階までの吹き抜け空間は、ミーティングや休憩場所のほか、新たな発想を生み出す場として、木の香り漂う居心地の良いリラックス空間に生まれ変わった。

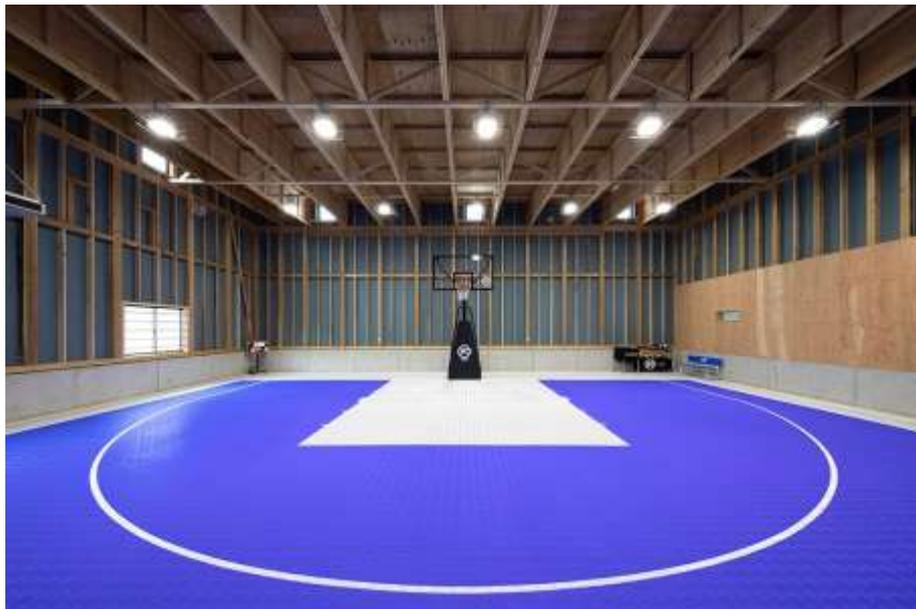
リニューアルに使用した間伐材（2,224本）は14.7トンの炭素固定に貢献。社内外に木材利用の良さをPRしている。



構造／鉄骨6階建て
竣工／2003年3月（2023年10月改装）
施主／トヨタ車体株式会社
内装木質化面積／742.8㎡
（すべてあいち認証材）
木材使用量／20.9㎡
（すべてあいち認証材）

使用樹種／ヒノキ
内装木質化設計・施工／トヨタ車体株式会社
受賞歴／第7回あいち木づかい表彰特別賞





木の香る都市づくり事業

バンドッグ スタジオ
Bamdog Studio

安城市末広町4-1

構造／木造 1階建て 延床面積／290.25m²
 竣工／2023年10月
 木材使用量／26.71m³
 (うち あいち認証材／26.71m³)

施主／竹内一裕
 設計／株式会社渡辺設計
 施工／株式会社アルシス
 2023年度木の香る都市づくり事業活用施設



西三河初の 3×3コート常設の屋内運動施設

Bamdog Studioは、当初の鉄骨造の計画から木造へ変更することで、コストダウンと工事期間の短縮を実現した。県産木材を横架材や柱、間柱に多く使用し、大空間の天井を支える梁は平行弦トラス工法を採用している。これらすべてがあらわしとして使用されているため、館内は木の香る空間となっている。

木の香る都市づくり事業

横山町コミュニティーハウス
ナルセノイエ

安城市横山町寺田35番地4

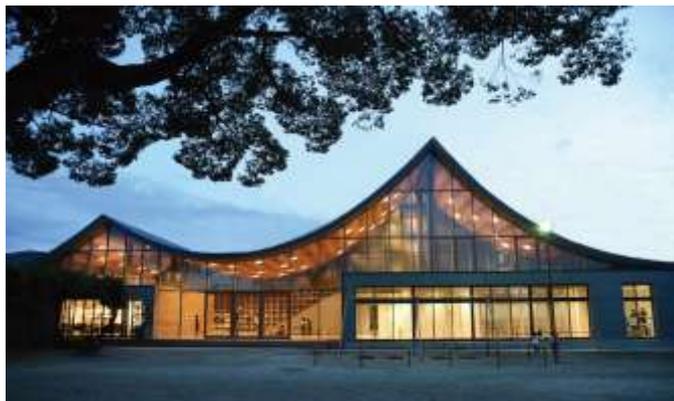
構造／木造2階建て 延床面積／144.7㎡
 竣工／2021年3月
 内装木質化面積／156.2㎡
 木材使用量／10.18㎡
 （内装：8.46㎡ 木製備品：1.72㎡）
 （うちあいち認証材 10.18㎡）

樹種／スギ、ヒノキ
 施主・設計／株式会社ナルセコーポレーション
 施工／西垣林業株式会社
 2020年度木の香る都市づくり事業活用施設

木造2階建てのモデルハウスを兼ねた
コミュニティーセンター

施主が建築する注文住宅に下地から造作材まで100%あいち認証材を使用することで、SDGsや森林整備に貢献する。このコンセプトにより建築したモデルハウスを地域のコミュニティーセンターとして使用することにより、木を通じての人とのかかわり方や物を大切にする豊かな暮らしをより多くの人へPRする。





知立の寺子屋

知立市西町西4

構造／地上2階建 鉄骨造+木造
 延床面積／744.70㎡ 竣工／2016年7月
 敷地面積／997.76㎡ 建築面積／536.80㎡
 木梁／欧州赤松集成材
 材厚105mm 材幅65.9~220.6mm
 材長約1.5m
 施主／株式会社FUJI
 設計／MOUNTFUJI ARCHITECTS STUDIO
 施工／小原建設
 受賞歴／第62回日建連表彰BCS賞
 グッドデザイン賞2017
 第22回木材活用コンクール木材活用賞

グローバルに事業展開する 地元企業による地域貢献施設

地域の児童を預かるイングリッシュアフタースクール「teracoyaTHANK」、地域の憩いの場となるカフェ「thirty nine cafe」からなる複合施設。運営は産業用ロボットメーカーである株式会社FUJI。

旧東海道39番目の宿場町でありこの地域にある古くからの寺社とともに、普遍的に存在するようS造+木造でデザイン性のある建物とした。

デザインの特徴としては、ダイナミックに垂れ下がった屋根と20mスパンの大空間を木質で実現させたこと。これにより、地域に開かれた‘街の大屋根’として活用されている。





株式会社山西 豊田店

豊田市若林西町北長根36-1

構造／木造3階建て
 延床面積／497.63㎡
 竣工／2025年3月
 木材使用量／98㎡（国産材）
 施主／株式会社山西
 設計監理／株式会社加藤設計
 構造設計／株式会社木構造デザイン
 施工／角文株式会社



循環型社会を体現するゼロエネルギーオフィス

構造材に高強度のカラマツ集成材を活用し、耐力壁や柱・梁で内部の空間を高く広く設計した。構造の一部には、斜め格子状に組まれた意匠性の高い耐力壁を採用しており、採光や通風の工夫がされている。

動線となる階段や手摺、視線が向かいやすい窓枠などにも木質建材を活用し、空間全体に木の温もりが感じられる。

3階吹き抜けのカーテンウォールからは、自然光を取り入れつつ、テラスの梁には鉄骨部材を活用するなど、木材だけで構成することこだわらず、適材適所で材料を組み合わせることにより、無理のない設計で木材利用の見本となるようなオフィスを実現した。また、ZEB取得によるゼロエネルギーオフィスとし、働きやすく快適な環境を創出している。





▲外観と展望エリア

三河湖テラスこりん

豊田市羽布町鬼ノ平1-114

構造／鉄骨造1階建て
 延床面積／392.16㎡
 竣工／2024年10月
 木材使用量／6.50㎡
 （うち、あいち認証材5.95㎡）
 施主／豊田市
 設計／株式会社スペース一級建築士事務所
 施工／株式会社スペース（名古屋本部）
 家具／木工ふくなり

「地域とともに」をテーマに 新しくなった観光センター

三河湖のほとりにリニューアルオープンした観光施設（休憩所）。屋外の見晴らしテラスやガラスカーテンウォールの屋内展望スペースから、四季折々の三河湖の風景を楽しむ。

豊田市産スギを圧密加工し床材に採用、ヒノキはオリジナル家具や、三河湖の風景から着想したデザインをトイレの意匠パネルに使用。家具は地元アトリエと協働で製作し、地域の木と人の手による地材地消を実現した。

切妻（きりづま）の大屋根にも地産材を用い、木の香りや手触りを通して温もりを感じられる空間に仕上げた。地域とともに育つ、新たな三河湖の玄関口となっている。



▲内観



▲女性用トイレ内観（左）と、オリジナルスツール（右）



豊田市博物館

豊田市小坂本町5丁目80

構造／鉄筋コンクリート（一部木造）
 延床面積／約7,800㎡
 竣工／2024年3月
 木材使用量／657㎡
 （うち、豊田市産材233㎡）
 施主／豊田市
 設計／株式会社坂茂建築設計
 施工／清水・トヨタT&S・三栄建設共同
 企業体
 受賞歴／日本空間デザイン賞2024
 if DESIGN AWARD 2025
 ZEB Ready認証



21世紀のサステナブル建築

豊田市博物館は、隣接する豊田市美術館と一体的な敷地利用ができるように計画。

美術館が近代的な建築であるのに対し、博物館は木材をふんだんに使用したサステナブルなデザインとなっている。

全体の1/5を占める「えんにち空間」は、豊田市産のスギを使用し、建設時におけるCO₂の排出を抑えた。

災害時には、博物館に災害対策本部が設置できるようになっており、環境配慮や省エネだけでなく、災害にも強い建物となっている。





▲来客棟 展示空間

あいち木づかい表彰受賞施設

Toyota Technical Center Shimoyama 車両開発棟・来客棟

豊田市蕪木町北野田459

構造／鉄骨造地上4階
延床面積／73,808.7㎡
竣工／2023年11月
木材使用量／105㎡
(うち、あいち認証材105㎡)

施主／トヨタ自動車株式会社
設計・施工／竹中工務店
受賞歴／
令和7年度木材利用推進コンクール
ウッドデザイン賞2024
第8回あいち木づかい表彰 優秀賞
第27回木材活用コンクール
インテリアプランニングアワード2024
日本空間デザイン賞2024
iF DESIGN AWARD 2025
2025年照明デザイン賞
2025年照明施設賞

自然と調和する施設 新しい発想と技術革新を促す空間

建築においては、設計段階から敷地周辺の未利用材の活用を視野に入れ、地域と連携しながら施工期間中の安定した原木供給体制を構築した。

来客棟の展示空間上部には、建物全体の自然換気を促す高窓を設け、細く短い未利用材を4本束ねて強度を持たせることで構造材とし、屋根架構に活用している。

また、研究開発施設内のホール空間では、音を吸収するのではなく拡散させることでフラッターエコーを抑える「音響拡散壁」を設置。こちらも薄く短い未利用材を用い、ビスや金物等を一切用いない伝統的な接手で組み上げることで、良質な音環境を実現している。



▲外観



▲研究開発施設内 ホール空間

写真撮影：藤井浩司（上、右下）、鈴木文人（左下）



あいち木づかい表彰受賞施設

Toyota Technical Center Shimoyama 環境学習センター

豊田市下山田代町松ヶ田和2-2

構造／木造平屋建
 延床面積／423㎡
 竣工／2023年3月
 木材使用量／170㎡
 （うち、あいち認証材137㎡）
 施主／トヨタ自動車株式会社
 設計・施工／株式会社竹中工務店
 受賞歴／日本空間デザイン賞2023 銀賞
 （サステナブル空間賞）
 ウッドデザイン賞 2023 奨励賞
 （審査委員長賞）
 第7回あいち木づかい表彰
 iF Design Award 2024 Gold
 第2回SDGs建築賞（中・小規模
 建築部門） 審査委員会奨励賞



環境について学ぶ 地産地消の間伐材建築

敷地内の森林環境整備から生まれる「細く・短い」間伐材を構造架構として活かし、魅せる空間を表現。

径が細く曲がりが多いため、一般的に製材品として使われない間伐材を使いきるため、歩留まりよく加工できる寸法を設計に反映させるとともに、木チップを固化した化粧合板や液体ガラスの塗布の技術により耐久／耐候性を向上させた木材を用いるなどの工夫がされている。

集成材を利用せず、近域内で製材過程を完結できるように工夫し、環境配慮を実践した。



写真撮影：ナカサアンドパートナーズ

木の香る都市づくり事業

豊田商工会議所

豊田市小坂本町1-25

構造／鉄骨造4階建て（一部鉄筋コンクリート造）
 延床面積／3551.11㎡ 竣工／2022年12月
 木質化面積／50.1㎡（うちあいち認証材50.1㎡）
 木材使用量／2.90㎡（うちあいち認証材2.90㎡）
 施主／豊田商工会議所
 設計／株式会社桜屋
 施工／西垣林業株式会社
 2022年度木の香る都市づくり事業活用施設



家具や展示棚にあいち認証材を使用したエントランス

多くの地元企業関係者が行き交う商工会議所のエントランスにおいて、愛知県産のスギ、ヒノキを使用した木製展示棚や、風・光を感じられるようなデザインのパーティションを設置してモノづくりの中心地で、木をPRしている。





©株式会社 エスエス

豊田地域医療センター

豊田市西山町3丁目30番地1

構造／鉄骨鉄筋コンクリート造、
鉄筋コンクリート造、鉄骨造（免震構造）、
地上7階、塔屋1階

延床面積／16,569.78㎡ 竣工／2022年12月
木質化面積／1,148㎡

（うちあいち認証材1,148㎡）

木材使用量／34.54㎡
（うちあいち認証材34.54㎡）

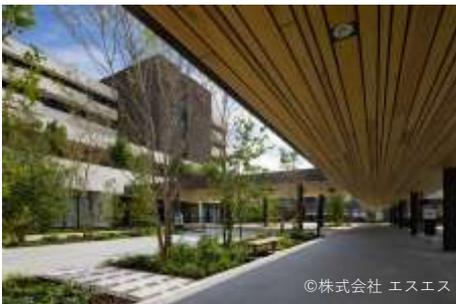
施主／豊田市

設計／株式会社日建設計

施工／鴻池・太啓建設共同企業体



©株式会社 エスエス



©株式会社 エスエス

県産木材を使用した温かみのある空間

総合受付背面及び通路の木リブ壁や、
車寄せ、正面玄関前の屋根の軒天などに
県産木材を使用。受付付近の壁には、名古屋
造形大学の学生と市民が製作したアートを設
置している。



ティーフフェイス

T-FACE

豊田市若宮町1-57-1

構造／鉄筋コンクリート造 地下1階、
地上11階、塔屋1階
リニューアル竣工／2022年4月
木質化面積／180㎡
(うちあいち認証材180㎡)
木材使用量／3.3㎡
(うちあいち認証材3.3㎡)
施主／豊田まちづくり株式会社
設計／株式会社 石本建築事務所
施工／株式会社 乃村工藝社

豊田の森を感じるショッピングモール

天井のルーバー、格子天井、飲食スペースや食品売り場、コワーキングスペースの内装装飾等に豊田市産の杉を使用し、施設全体にゆったりとした印象を与えている。

また、6階フロアの休憩スペースには豊田市内で伐りだされたヒノキ丸太のツールが置かれ、駅前でありながら、豊田の森を感じられる施設となっている。





豊田信用金庫 高橋支店

豊田市高橋町2丁目97番地

構造／鉄骨2階建て
延床面積／615.51㎡
竣工／2020年12月
内装木質化面積／110㎡（ロビー）
木材使用量／2.3㎡
樹種／ヒノキ 施主／豊田信用金庫
設計／株式会社青島設計
施工／太啓建設株式会社



地元の木材をふんだんに使った 地域密着型の店舗

お客様の待合空間に、愛知県産木材ヒノキのルーバー天井や、土足に対応したフローリングを使用し、木のぬくもりや風合いを感じられる店舗としている。

また、外部は木調ルーバーで覆うことにより、内外の意匠的な一体感を待たせている。



あいち木づかい表彰受賞施設

木の香る都市づくり事業

東名高速道路 新城PA(上り線・下り線)トイレ棟

新城市富岡東川地内

構造／木造平屋建て
延床面積／㊤235.09㎡
㊦218.33㎡

竣工／㊤2024年6月
㊦2023年12月

木材使用量／㊤110.22㎡ (㊤106.15㎡)
㊦120.53㎡ (㊦119.46㎡)

※うち、あいち認証材を()に記載

施主／中日本高速道路株式会社東京支社

設計／株式会社笹戸建築事務所

施工／徳倉建設株式会社

㊤ 2023年木の香る都市づくり事業活用施設

※ 上り線を㊤、下り線を㊦と表記

パーキングエリアに 「ほっと安らぐ空間」の提供を

愛知県東三河地域で生産された木材をふんだんに使い、利用者が木の温もりを感じ、「ほっと安らぐ空間」で運転の疲れが癒されるような施設にリニューアルした。

上り線の外装には杉板材を使用、内装は木質化で仕上げ、木のぬくもりを感じられる安らぎの空間となっている。下り線は外壁は焼杉工法で仕上げ、黒を基調としたシックな雰囲気になっている。

上り線・下り線共に、屋根にはCLTを使用することで、軒下から天井まで木質化を図っている。



▲上り線



▲下り線

木の香る都市づくり事業

しんしろ木の学校

新城市吉川字上林22・23合併地

構造／木造2階建て

内装木質化面積／170.5㎡

竣工／2021年3月

木材使用量／9.1㎡(うちあいち認証材8.8㎡)

樹種／スギ、ヒノキ

施主／NPO法人奥三河田舎暮らし隊

設計／職人夢工房TODA設計室

施工／株式会社戸田工務店

2020年度木の香る都市づくり事業活用施設



可能な限り真壁工法を採用した施設

新城市吉川に建つ築170年以上の古民家。可能な限り真壁工法を採用し、常に空気に構造材が触れる環境で木材の状況を良くする。

あいち認証材の中でも、天然乾燥材を採用し、よりにおいや艶などの魅力を最大限に生かした施設。

しんしろ木の学校教室として、DIYの資格講習や実技実習の会場として利用。





あいち木づかい表彰受賞施設

森林整備加速化・林業再生事業

道の駅「もっくる新城」

新城市八束穂五反田329番地7

構造／木造2階建て
 総敷地面積：10,296㎡
 建物敷地面積／3,831㎡
 延床面積／1,074㎡
 竣工／2015年1月
 木材使用量／約164㎡
 （うち あいち認証材 約154㎡）

施主／新城市
 設計／株式会社鶴飼哲矢事務所
 施工／三河建設工業株式会社
 受賞歴／第1回あいち木づかい表彰最優秀賞
 2013年度森林整備加速化・林業再生事業活用施設



奥三河の観光ハブステーション

奥三河産のスギ・ヒノキをふんだんに利用している。

メイン施設は半円形のドーム状で、木組み構造によりアーチを構成しており、長篠設楽原の戦いで織田・徳川連合軍が使用した「馬防柵」をイメージしている。

梁を支える丸太柱には大断面集成材を利用することによって、広い空間を確保している。



シタラ ヴィレッジ SHITARA VILLAGE

北設楽郡設楽町西納庫蜂クゴ12-1

構造／木造平屋、デッキ材
 延床面積／管理棟157.34㎡、デッキ1292㎡
 竣工／2024年7月
 木材使用量／管理棟26.7㎡、デッキ材107.4㎡
 （うち、あいち認証材108.87㎡）
 施主／プレイリーホームズ株式会社
 設計／株式会社伴工務店
 施工／株式会社伴工務店

自然素材を身近にする ネイチャーグランピング施設

奥三河の設楽町にオープン。設楽町で育んだ良質なスギ・ヒノキをたくさんの方に知ってもらいたいと構造材、外装材、デッキ材に地元の木材を使用。

管理棟・宿泊棟の内装材にもヒノキ、チーク、オークなどの木材を使用し、大自然の中で自然素材の素晴らしさも体感できる。

宿泊棟には5つのデザインコンセプトで部屋を設け、何度も滞在したくなる施設となっている。



▲管理棟



▲多目的ステージ



あいち木づかい表彰受賞施設

道の駅したら

北設楽郡設楽町清崎字中田17-7

構造／鉄筋コンクリート2階建て
(一部小屋組木造)

延床面積／3,068.47㎡ 竣工／2021年3月
木材使用量／206.06㎡ 樹種／ヒノキ
施主／設楽町

設計／株式会社浦野設計

施工／古川・遠山特定建設工事共同企業体

受賞歴／令和3年度木材利用優良施設コンクール
木材利用推進中央協議会会長賞
第5回あいち木づかい表彰優秀賞
ウッドデザイン賞2021 (奥三河郷土館)

設楽町の南の玄関口にある、 郷土資料館や体験施設を併設した道の駅施設

清崎地区の国道257号線沿いにあり、駐車場入口の木製受水槽囲いが案内看板。観光案内所・売店・レストランや日本酒造り体験工房が入る地域産業振興施設では、木製のテーブル・チェア、什器が備えられている。移転リニューアルした「奥三河郷土館」では、ヒノキ材の温もりのある展示空間に郷土の自然環境・歴史民族資料が多数展示されている。



やつはしさいえん

八橋斎苑

北設楽郡設楽町八橋字長久保6-1

構造／鉄筋コンクリート造（一部小屋組木造）
2階建て

延床面積／752㎡ 竣工／2021年3月

樹種／スギ

木材使用量／144.57㎡（全て設楽町産材）

施主／設楽町、豊根村、根羽村

設計／株式会社伊藤建築設計事務所

施工／太平・邦英・伊藤特定建設工事共同企業体



北設楽・下伊那郡3町村が共同利用する火葬場

将来のダム湖を望む高台に建設された新しい斎場。設楽町清崎地区及び津具地区の旧式化した火葬場を統合し、八橋地区に火葬炉を2基備えた新施設として建設された。建物の用途上、主構造は鉄筋コンクリート造としつつ、小屋組や内装材の各所に地域産木材（主に設楽町産）を使用して落ち着いた空間になっている。



東栄ひだまりプラザ

北設楽郡東栄町大字本郷字大沼1-1

構造／木造＋鉄筋コンクリート造平屋建て

延床面積／1,980.81㎡ 竣工／2022年10月

木造部分面積／1,235.52㎡

木材使用量／223.65㎡

(主に県産木材、一部東栄町産材・あいち認証材)

施主／東栄町 設計／株式会社内藤建築事務所

施工／徳倉・三河・田中特定建設工事共同事業体

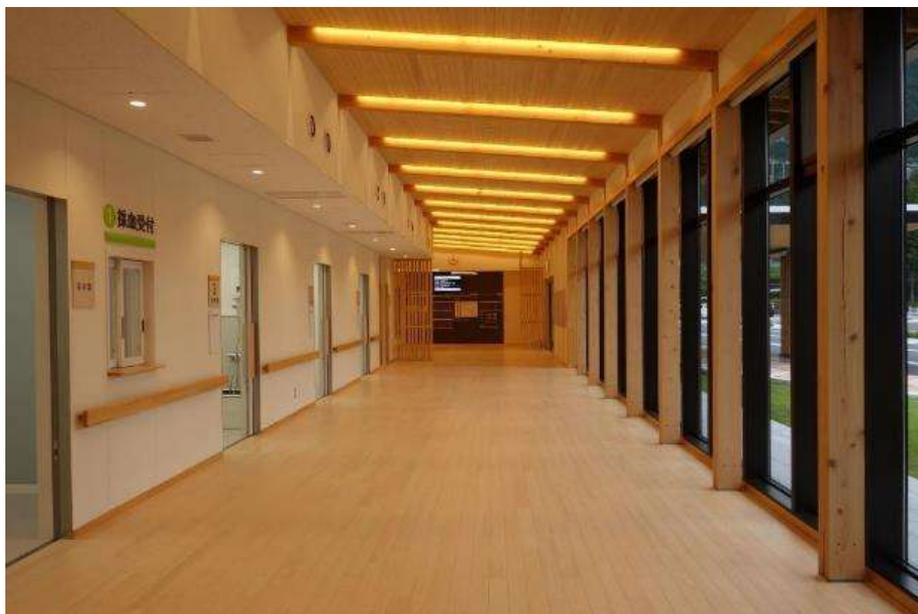


町産材を使った診療所・保健福祉センター

新たに整備された東栄町保健・医療・福祉複合施設。国民健康保険東栄診療所と東栄保健福祉センターが中央棟を挟んで両側に配置されている。

鉄筋コンクリート造の間に木造を配置した複合構造。木造部分は在来軸組工法で、見える部材に東栄町産のヒノキが使用されている。

診療所の外来待合と保健福祉センターの玄関ホールは現しの梁と照明が組み合わさり温もりのある空間となっている。



名古屋

尾張

張

海

部

知

多

西

三

河

豊

田

加

茂

新

城

設

案

東

三

河